

沖縄本島における遺伝資源収集報告

果樹試験場 口之津支場 育種研究室

松 本 亮 司

1. 目的

沖縄を中心とするわが国の南西諸島には、シーカシャー、ケラジなど特有のミカン類カンキツの存在が知られている。しかし十分な探索、収集がまだされておらず、急速な開発による消滅が心配される。そのため当支場が担当し、沖縄県農業試験場名護支場果樹研究室の協力で、探索、収集をすることになった。

2. 経過

最も探索の成果の得られる時期として、沖縄県名護支場と打合せた結果、果実が熟し特徴がつかめ、また種子の採取の可能な12月上旬を選んだ。探索の実行は別紙探索、収集日程表のとおりで、12月4日に出発、12月5日に探索、収集を行った。探索、収集には名護支場果樹研究室の全面的な協力を得、カンキツ類の多い名護市を中心に本部半島、大宣味村で行った。

3. 収集成果

現地山林及び名護支場の収集品種の中より選択し、別表のと通りの9品種を収集した。明らかに異なる品種と見られるが、現地ではいずれもシーカシャーの系統としていた。12月5日には果実及び穂木の採取を行ったが、3月に再度穂木の送付を受け、収集、保存をより確実なものにした。

収集品種はカラタチ台へ接ぎ木、育苗すると同時に高接ぎをし、台木としての価値を検討するための早期採種用とする計画である。

材料の今後の受渡し計画

遺伝資源としての保存と特性調査を行うとともに、農林水産ジーンバンクへの苗木の受渡しを行いたい。

4. 所感

沖縄本島を始めとした南西諸島の開発、自然破壊が急速に進んでいることから、沖縄本島のみでなく、西表島を中心としたより未開発の諸島の探索、収集を早急にはからなければならぬと感じた。

協力研究機関等

沖縄県農業試験場名護支場

表 1. 探索・収集日程表 (沖縄県, 1985)

月 日 (曜)	旅 程	行 動 内 容
12. 4 (水)	口之津 → 大村 - (空路) → 那覇 → 名護	空路移動
12. 5 (木)	名護市, 大宜味村他	収集
12. 6 (金)	那覇 - (空路) → 大村 → 口之津	空路移動

表 2. 収集材料現地記録表 (沖縄県カンキツ探索, 1985)

収集番号	日付	作物名	種・属名	品 種 名 (現地名)	採 集 地	備 考
1	12. 5	カンキツ	Citrus	シーカシャー (タチバナ)	名護市	台木品種
2	〃	〃	〃	〃 (ミカングワー)	〃	〃
3	〃	〃	〃	〃 (石クラブ)	〃	〃
4	〃	〃	〃	〃 (ヒージャークラブ)	〃	〃
5	〃	〃	〃	〃 (大宜味クガニー)	大宜味村	〃
6	〃	〃	〃	〃 (勝山クガニー)	名護市	〃
7	〃	〃	〃	〃 (フスプター)	〃	〃
8	〃	〃	〃	〃 (カアアチー)	〃	〃
9	〃	〃	〃	〃 (カービシー)	〃	〃

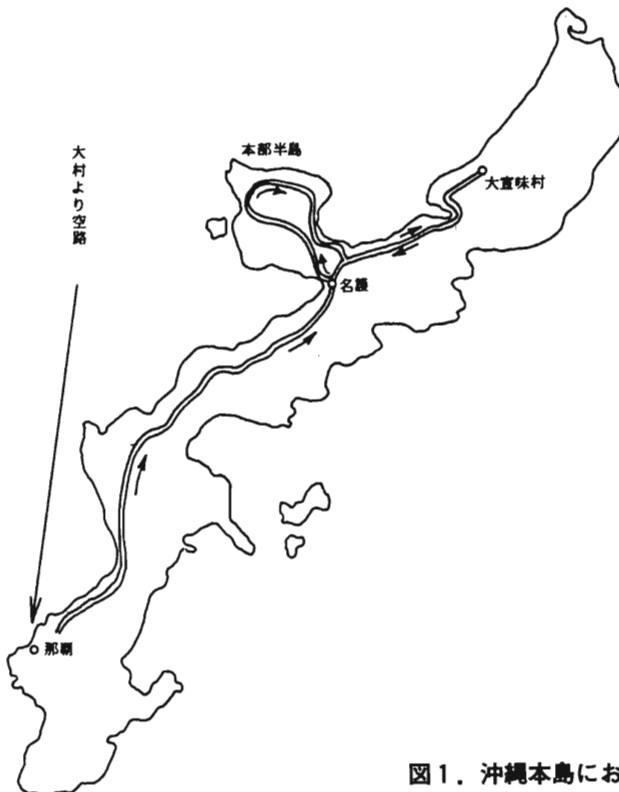


図 1. 沖縄本島における収集経路図